



公益財団法人 星総合病院

けん こう

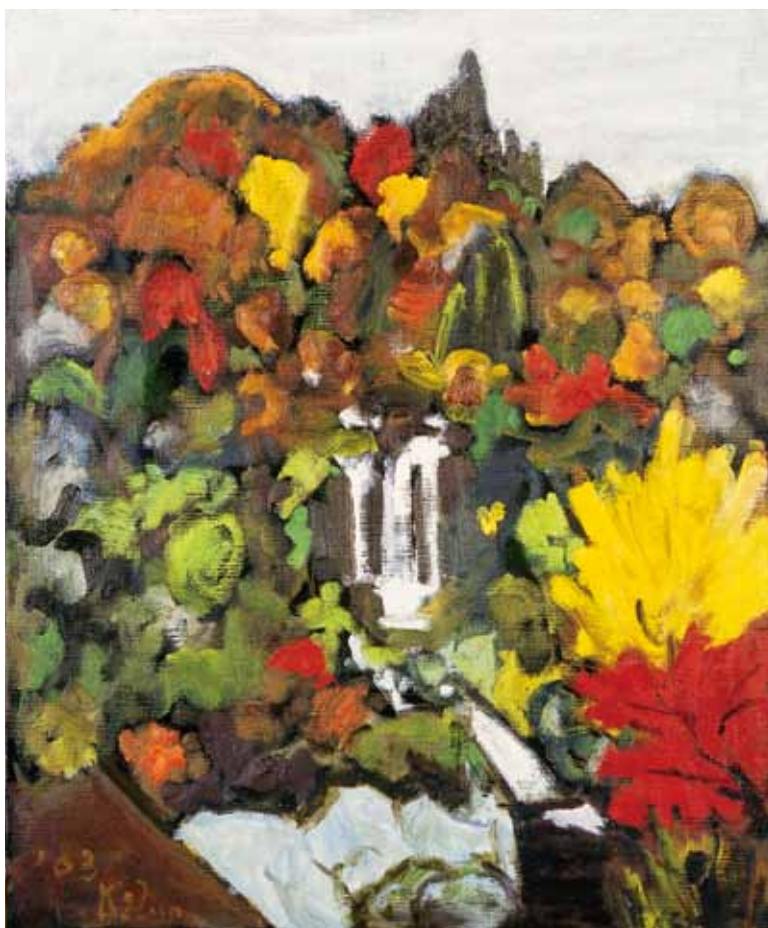
懸 虹

平成27年10月 No.285

特 集

星総合病院における 精神科診療について

- 入院型ペインマネージメントプログラム
- 当法人の認知症医療について
- 平成26年度介護保険ケアプラン利用者満足度調査結果
- 施設ニュース
- トピックス



土湯の滝 (F20、2003)

星 一雄

病院に勤務して

醫

霊

警察から病院に移って三カ月が過ぎたある日、「階の会計前で初老の男性から、「なんでこんな所に緩和ケアの案内を出しておくんのだ。病院は、病気を治す所ではないのか。縁起でもなく気分が悪い」と言われた。これまでの警察人生の中で、色々な死と関わってきた。殺人事件の被害者、交通死亡事故、自殺、独居者の孤独死、労務災害死、自然災害死。そこには親類縁者、友人等多くの驚きと悲しみがあった。

こんな事もあった。河口から発見された遺体を家人に指示されて縁側に安置したことがあった。父親がぼつりと言った。「ここでは、水死者は、玄関から中に入れられないんだ。」と。畳の上で死ねたらね「数多くの事件、事故に携わり聞いた言葉である。

その男性に、「残念ながら人間は、不死身じゃありません。死は万人に訪れます。私は、この三月に警察を定年退職し、今、ここで働いています。が、人生の最後の最期まで人間らしく生きたいと思っています。病院のこの取り組みは、素晴らしいことであると思います。」と答えた。その人からの次の言葉はなかった。

人生の最後の最期、体の痛みを取り除き、家族となごやかな食卓を囲み、中庭の木々の中、家族に車椅子を押され一緒に日の光を浴び、頬をなでる風で季節を感じる。

本人にとっても、家族にとっても残された時の心安らぐひとときであると思う。

事業本部参事 栗田 保彦

＜醫靈＞霊をも醫(癒)やしたい——という創始者の願いを医療従事者の医の心とすべく造られた当法人の理念

星総合病院における 精神科診療について



星総合病院
病院長補佐兼精神科部長
森 東

はじめに

星総合病院は、平成27年度より精神科医師が常勤配置になりました。総合病院の精神科医療の対応は、幅広く求められており、院内外の関係者の皆様と協力し、地域ニーズに応じた診療に努めたいと考えております。

精神疾患は、医療法により医療計画制度で平成25年度より「5疾病・5事業」として、医療政策に位置づけられました。

「5疾病・5事業」とは

5 疾病	がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患
5 事業	救急医療、災害時における医療、へき地の医療、周産期医療、小児救急医療を含む小児医療

精神疾患とは

精神疾患は、うつ病等の気分障害、パニック障害等の神経症性障害、統合失調症等の精神病性障害、アルコール依存等の薬物依存も診療対象です。近年、特に高齢者で患者数が増加している認知症や、発達障害等の児童精神科領域も対象であり、児童から高齢者まで約300万人以上が受診しております。また、総合病院では、入院治療の中で手術実施の後や、入院に伴う環境の変化等により、一時的に幻覚が見えたり興奮状態を呈す等の「せん妄状態」になることもあります。早期に精神療法や薬物療法といった精神科診療の提供が必要です。

認知症の診療について

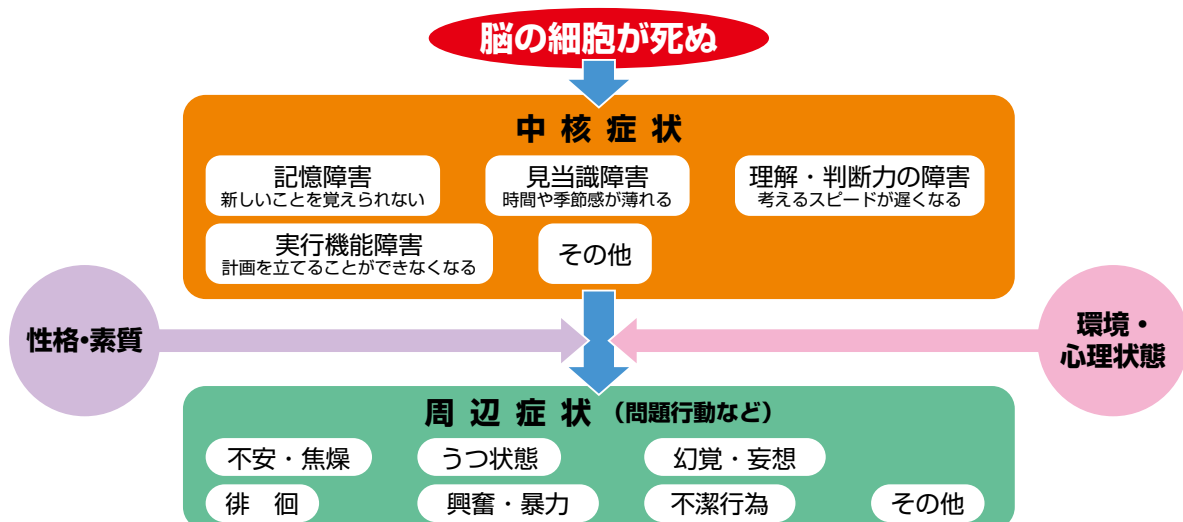
高齢化社会の到達により、厚生労働省は2025年には認知症の人は約700万人に達すると推定しています。星総合病院においても、認知症患者が増加しており、今回、認知症の症状や診断、治療、予防等についてご案内します。

認知症とは

認知症は、一度獲得した知的機能全般が脳の病気などによって進行的に著しく低下し、認知障害（物事の理解の障害）により、日常的に支

障をきたした状態をいいます。具体的には、初期の症状として同じことを何回も言ったり聞いたりする、物の名前が出てこなくなる等です。また、以前あった関心事や興味が薄れ、意欲低下が多くの方に見られます。認知症の症状は、直接に起こる症状を「中核症状」と呼び、そこに性格や環境などの要因が関係し、「周辺症状」と呼ばれる生活に支障を及ぼす症状があります。

概要は以下の通りです。



認知症をきたす主な病態

1. アルツハイマー型認知症

広範な脳細胞の衰退によっておこる認知症で、記憶障害から始まり、ゆっくりと進行します。大脳の表面をおっている皮質や覚える機能を持つ海馬を中心に β アミロイドというたんぱく質等が神経細胞内に蓄積し、神経細胞のネットワークを壊し発症します。認知症の約50%を占めています。



アルツハイマー型認知症の人では
赤い矢印で示す海馬の萎縮がみられます。

2. レビー小体型認知症

パーキンソン症状や幻視を伴い、症状の変動が大きいのが特徴です。

3. 脳血管性認知症

脳出血、脳梗塞といった脳卒中の後に出現する認知症で、高血圧、高コレステロールが危険因子です。

認知症の診療について

認知症性疾患が疑われるときの診療の手順は次の通りです。

①問診

本人に症状や生活習慣等を話していただきます。本人の了解を得て同伴者に尋ねます。

②身体診察

③神経心理テスト

記憶や知能などに関する心理検査等を行います。

④画像診断

頭部CT、MRI、脳血流検査を行います。

⑤血液・髄液検査、脳波など

貧血、肝臓や腎臓の機能、甲状腺機能検査を行います。

認知症の治療法、予防について

1. 薬物療法

記憶障害、判断力の障害などの中核症状を対象とした薬物療法は個人差がありますが、軽度から中等度のアルツハイマー型認知症に一定の効果があります。アルツハイマー病は脳細胞が死んで脳内のアセチルコリン(神経伝達物質)の量が少なくなりますので、そのアセチルコリンが分解するのを抑えるための薬物を内服します。また、壊れた脳細胞からグルタミン酸が流れることで、記憶や学習に関わる神経伝達物質の障害があることから、グルタミン酸の量を正常に整える薬物を内服します。これらの薬剤は進行を遅らせる作用があります。

2. 非薬物療法

散歩や体操等の運動や食事をはじめとする生活習慣病対策は、発症を遅らせる効果が認められています。高血圧症、高脂血症、肥満などの対策も有効です。脳や身体を使わない「廃用」は認

知症の発症や進行を加速させます。規則正しい生活が大切です。

3. 全身管理、体調管理

日頃より、血圧の確認やかかりつけの内科等の医師に体調を確認していただくことが大切です。

4. 介護者・家族等の対応

相手の目線に合わせて、ゆっくりと分かりやすい言葉を使う、相手の言葉に耳を傾ける、自尊心を傷つけないこと等が大切です。また、時にはホームヘルプやショートステイ等の介護保険のサービスを利用することも検討が必要です。

認知症は、早期の発見、早期治療が大切です。早い時期に受診することで、予防の実施や重症化を防ぎ、病気の理解を深め、その後の生活上の障害を軽減することが可能になります。

星総合病院の診療体制

より良い診療を提供するためには、医師を中心にその他の専門職を含め「チーム医療」の提供が求められています。精神科医療は、特に、多職種のマンパワーによる診療の提供が必要です。総合病院では、臨床心理士や作業療法士等のリハビリスタッフ、社会福祉士等を配置しており、認知検査、カウンセリング、リハビリテーションや地域、家族

等との連携、相談を行います。お気軽にご相談ください。

また、星総合病院は、福島県より「認知症疾患医療センター」の委託を受けており、各地区の地域包括支援センター等の関係機関やかかりつけ医師と連携を図る窓口もありますので、ご相談ください。

星 総 合 病 院
認知症疾患医療センター

電話 024-983-5529

月曜日から土曜日(木曜日の午後、第三木曜日全日、日曜、祝日、年末年始を除く)
午前9時から午後5時まで

入院型ペインマネジメントプログラム

慢性の痛みにお悩みの患者さんへ

怪我や病気などにより急に現れた痛みを「急性痛」といいますが、これは身体に対する有用な警告システムで、傷や腫れが治るとともに痛みがなくなります。これに対し、傷が治っても3ヶ月以上継続する痛みは「慢性痛」と言われます。傷が治っていても、痛みに過度に固執したり、恐れったりといった心理的な面も関係してくるため、痛みの原因が特定できないことも多く、身体にとって無益な痛みです。そのため、慢性痛の治療は非常に難渋します。

星総合病院では、平成27年4月から慢性の痛みに対する学際的な治療を行う“慢性疼痛センター”を開設しました。外来治療を行い、必要であれば入院による治療を行います。「学際的」とは、学問や研究が複数の異なる領域にまたがることを意味します。ここでは、患者さんの生活スタイルや目標をもとに医師（整形外科や精神科）、看護師、理学療法士、臨床心理士、薬剤師、および管理栄養士といった多職種の専門家が治療に携わることを意味しています。以下に入院型ペインマネジメントの内容について説明します。

目的

運動療法や心理療法を中心に、痛みの管理法や運動の習慣を身に付け、痛みを左右されない行動や生活習慣を獲得し、生活の質を向上させることを目的としています。

概要

入院期間：3週間

対象となる患者さん：慢性の痛みで就労や就学が困難な方、日常生活が制限されている方、仕事や学校への復帰を望む方

治療内容：運動、痛みへの対応、生活習慣、栄養、および薬物など痛みに関連する事項の管理調整を主体とした集学的リハビリテーションプログラムです。

ペインマネジメントプログラムの内容

1,2週目は5.5日、3週目は5日の合計16日間の集中プログラム

- ・基礎体力測定、職場での実際の動作分析などの評価
- ・理学療法士による個別訓練（筋力強化やストレッチ、有酸素運動などの運動療法、職場の実際の動作に準じた動きの指導など。プール内での運動も行います）
- ・臨床心理士による、自分も相手も大切にしたい自己表現を身につけていく訓練やリラクゼーションの習得、疼痛行動を減らし健康行動を増やすことを目的としたロールプレイ
- ・医師、理学療法士、臨床心理士、薬剤師、管理栄養士による講義（慢性の痛みの基礎知識、慢性の痛みへの対応、心理的因子と痛みの関連、運動療法の効果など）
- ・その他、個人に合わせたトレーニングメニューや学習したことの復習など、自分で取り組む時間が毎日予定されています。

入院スケジュールと目標

1週間のスケジュール例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
8:00-9:00		自主トレ	自主トレ	自主トレ	自主トレ	自主トレ	休診 外泊可
9:00-10:00		個別評価	個別評価	個別評価	個別評価	個別評価	
10:00-11:00	入院	講義	理学療法	心理療法	理学療法	講義	
11:00-12:00	評価	理学療法	理学療法	プール	理学療法	プール	
12:00-13:00	昼食						
13:00-14:00	講義	理学療法	ヨガ	休診 外泊可	理学療法	理学療法	
14:00-15:00	評価	プール	理学療法		心理士ロール プレイ	理学療法	
15:00-16:00	評価	理学療法	講義			理学療法	
16:00-17:00							
17:00-18:00	自主学習	自主学習	自主学習		自主学習	自主学習	

注）第3木曜日は休診となります。1～3週間で各々別メニューが用意されております。

目標

- 1週目：痛みを理解すること
 - 2週目：ペース配分を掴むこと
 - 3週目：学習したことを日常生活の中で継続できること
 - 退院後：自分の体を自身で管理できるようになること
- 本人のみならずご家族（重要他者）の方々にもご協力いただき、講義を聴講し学習していただきます。心理療法プログラムには、ご家族（重要他者）の方々にも参加していただきます。

当プログラムに関する留意点

このプログラムは、3週間の入院で完全に痛みをなくすことができるというものではありません。日常生活上で痛みとうまく対応できるようになるための、きっかけ作りを行うものであることを十分にご理解ください。

外来をご希望の方

星総合病院 整形外科外来
電話 0120-33-4895（外来予約専用フリーダイヤル）※外来に転送されます

当法人の 認知症医療に ついて



当法人では、星総合病院が福島県からの委託で「認知症疾患医療センター」を開設、星ヶ丘病院は郡山市の委託で「認知症初期集中支援チーム」を組織するなど、認知症医療に力を入れて取り組んでおります。
当法人の取り組みをご紹介します。

認知症疾患 医療センター (星総合病院内)

平成25年8月より福島県の委託を受け、保健医療・介護機関等と連携を図りながら、認知症疾患に関する鑑別診断・治療・専門医療相談や研修等を実施しています。
現在認知症疾患医療センターは、福島県内で4施設。星総合病院（星ヶ丘病院と機能を合わせ）は、県中、県南地域を担当しています。※3ページを参照

認知症初期 集中支援チーム (星ヶ丘病院内)

郡山市の委託を受け、平成26年10月に星ヶ丘病院に開設しました。郡山市内では3つのチームが指定されています。

〈認知症初期集中支援チームとは〉

医療・保健・福祉に関する国家資格と認知症ケアの実務経験等を有した職員で構成。
ご本人やご家族、民生委員、ケアマネジャーから相談を受け、家庭訪問を行い、その結果を踏まえ、支援の方向性を検討し、ご本人やご家族の自立に向けたサポートを行います。
ご本人・ご家族・地域包括支援センター・居宅介護支援事業所・施設・医療機関・行政との連絡、窓口としての役割を果たすことを目的としています。

- 【対象】**
- ①年齢が40歳以上で認知症が疑われる在宅生活者
 - ②介護・医療サービスを中断している人で
 - ・認知症疾患の診断を受けていない人
 - ・継続的な医療サービスを受けていない人
 - ・適切な介護保険サービスに結びついていない人
 - ・診断されたが介護サービスが中断している人
 - ③医療・介護サービスを受けているが、認知症の行動・心理症状（BPSD）が顕著なため、対応に苦慮している方

電話 024-962-9690

月曜日から土曜日（木曜日の午後、第三木曜日全日、日曜、祝日、年末年始を除く）
午前9時から午後5時まで

こおりやま オレンジカフェ ☆キラリ☆

認知症の人とその家族、介護職の方、地域の方などが何でも話せる憩いの場、情報交換の場として、どなたでも参加できる語らいの場です。
毎月第2・4火曜日に開催

時 間：11:00～12:30

場 所：メグレスホール ホワイエ

参加費：200円

今後の予定：11月 10日、24日 12月 8日、22日
(今年度) 1月 12日、26日 2月 9日、23日 3月 8日、22日



認知症 サポーターの 養成

郡山市の委託を受け、市と共同で市民向け「認知証サポーター養成講座」を実施しています。キャラバンメイトの講習を受けた当法人職員が講師となり、メグレスホールを会場に開催。3,000名を超える認知症サポーターが誕生しました。



その他の 取り組み、 トピックス

8月4日、メグレスホールにて「認知症の医療・介護の連携を考える」研修会を行いました。県中地区内の介護保険施設を中心に140名が参加しました。



9月20日、認知症の人と家族の会会員の皆さんと一緒に、認知症啓発街頭キャンペーンを行いました。

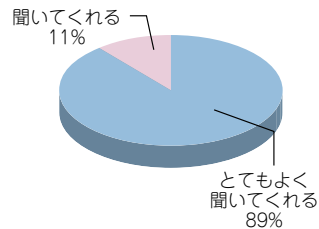


平成26年度介護保険ケアプラン利用者満足度調査結果

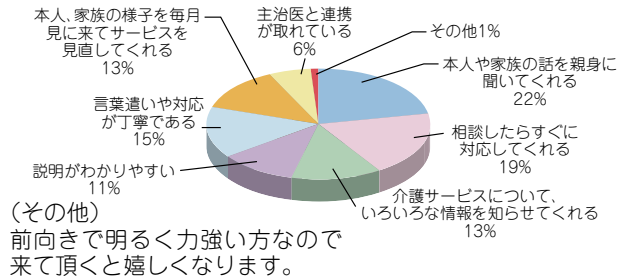
ケアプラン作成のご依頼をいただいている利用者やご家族の方々を対象とした満足度調査を実施しました。次の通り調査結果をご報告します。

●調査対象68件にアンケート配布。回答45件（回答66%）

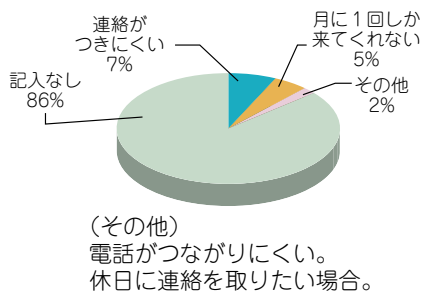
●担当のケアマネジャーは、あなたや家族の話や意見をよく聞いてくれますか？



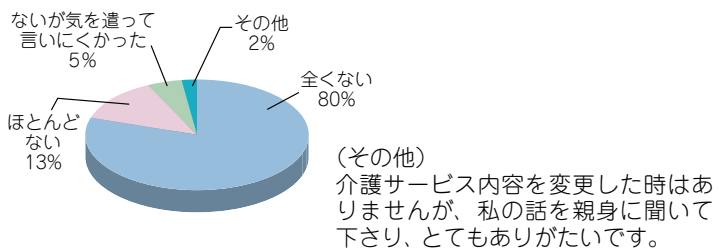
●担当のケアマネジャーの対応に満足しているところはどんなところですか？



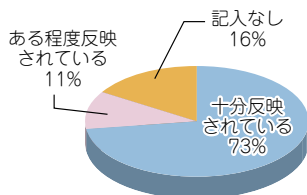
●担当のケアマネジャーの対応で不満に思うことはどんなところですか？



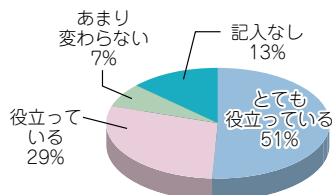
●介護サービスを増やしたいなど、ケアプランの内容変更を希望した時に、嫌な顔をされたり、断られたりしたことはありますか？



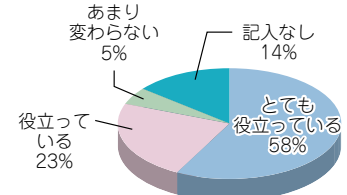
●ケアプランに本人や家族の意思や要望が反映されていると思いますか？



●現在のケアプランは、ご本人の自立支援に役立っていると思いますか？



●現在のケアプランはご家族の介護負担軽減に役立っていると思いますか？



●その他 ご意見・ご感想

- ・ケアマネジャーさんにはいつもお世話になり感謝！です。先の長い介護に不安もありますが、「ケアマネジャーさんに相談しながら歩いていけば大丈夫」と思っております。
- ・どのような場面でも適切に対応して下さいありがたく思っています。地域によりサービスの内容が限定されることが多いのですが、親身に情報の提供やサービスの提案をして頂けます。
- ・月に一度訪ねて下さるのを楽しみにしています。お忙しいでしょうに、時間をゆっくり取って色々な話、とりとめのない話を優しく聞いて下さり、とっても嬉しいです。月に一度と言わず、二度でも三度でもお会いしたいくらいです。頑張って長生きして、ずーっとお付き合い願えればと思っています。
- ・最近新聞等でも介護負担や認知症について記事にされており、興味を持って読みますが、介護負担は心身ともに大変であり、社会問題となっていることは言うまでもありません。家族と共に在宅で介護していくことの重要性和、それを支えて下さるケアマネジャーさん、介護サービスの利用、介護者を理解すること、本人の生き方をどこまで尊重するのか、実体験し日々考えさせられます。

満足度調査のご回答ありがとうございました。

今回の結果を踏まえ、さらに良いケアプラン作成に努めてまいります。

施設ニュース

星 総合 病院

救急の日イベント

9月8日

9月9日の「救急の日」にちなみ、郡山消防署の協力のもと、救急の日イベントを開催しました。消防署による寸劇を交えた救急に関する講義、救急蘇生法講習に加え、当院慢性心不全看護認定看護師による「心臓を守る」をテーマとした講演などを行いました。救急車、ミニ消防車・ミニ救急車の展示や、血圧測定・健康相談ブースも設置。地域住民の皆さんへ救急医療に関する普及・啓発の機会となりました。



星ヶ丘 病院

星ヶ丘フェスタ

10月24日

今年は『つなげよう星のかけ橋』をテーマに、沼田吉彦病院長による「こわくない認知症」の講演、スコップ三味線、星ヶ丘保育園児によるお遊戯、職員によるフラダンスなどが披露されました。

会場には、健康相談コーナー、作業療法体験コーナー、各種模擬店の他、当法人農業プロジェクト“星アグリイノベーション”のブースでは、収穫した新米の試食・販売も行いました。多くの患者さんや地域の方々にご来場いただきました。



三春町立三春病院

みはるフェスタ

10月3日

三春病院まつり「みはるフェスタ」を開催しました。『地域をつなぐミカン色の輪』をテーマに、三春レディ・バグズ・ダンスクラブや三春町敬老園入園者の皆さんによるダンス、須賀川吹奏楽団による演奏会、理学療法士による認知症予防体操のほか、健康チェックコーナーや各種模擬店も出店し、多くの来場者で賑わいました。



ポラリス保健看護学院

おいしい ふくしま いただきます！ キャンペーン

10月10日

福島県が実施する本県農林水産物の安全安心PRの一環として、県内の学生を対象とした『おいしい ふくしま いただきますキャンペーン』が開催されました。県産のおいしい野菜、放射性物質の現状、県の農林水産物検査態勢などの講演に続き、ポラリス学生考案メニュー「おばばの味ご飯」「サーモンと季節の果物を添えたカルパッチョ」を紹介。料理人 佐藤文男先生がアレンジを加えて調理し、試食会も行われました。さらに、タレントのなすびさんとふくしまの食に関するクイズにも挑戦しました。様々な企画を通して、県産農林水産物への理解を深める機会となりました。



保育園運動会

9月26日、9月27日、10月3日にそれぞれ、ほしのご保育園、星ヶ丘保育園、三春町第1保育所にて運動会を開催しました。保護者やお友達から大きな声援を受け、園児たちはかけっこ、玉入れ、親子競技、組体操など、どの競技にも一生懸命取り組みました。三春町第1保育所は、当法人が今年4月に指定管理をスタートしてから初めての運動会となりました。



ほしのご保育園



星ヶ丘保育園



三春町第1保育所

トピックス

星総合病院 キラリ☆ふれあい広場11月のご案内

ミニミニ健康教室

10:30～11:15頃 ※事前予約不要
場 所：メグレズホール ホワイエ
参加費：無料
内 容：
10日 認知症ってなあに？
(認知症看護認定看護師)
17日 インフルエンザで使うお薬について(薬剤師)
24日 糖尿病になりにくい生活とは(糖尿病療養指導士)



こおりやまオレンジカフェ☆キラリ☆

11:00～12:30 ※事前予約不要
11月は10日・24日に開催します。

場 所：メグレズホール ホワイエ
参加費：200円

病院スタッフが認知症に関する困りごと等について対応します。参加者同士の交流も。

キラリ☆ふれあい広場 12月からリニューアルします

今年度のあおぞら市は、11月24日をもって冬季休業に入ります。
12月からは、ミニミニ健康教室、オレンジカフェ☆キラリ☆を中心に、第2・4火曜日の開催となります。

ほしの庭 あおぞら市 10:30～13:00頃

場 所：かがやき健康館前広場
地域の農家さんによる農産物等の販売、地元の野菜を使った健康食の無料提供など

第7回郡山緩和ケアネットワークの集い 第3回市民公開講座『終活を考える ～最期を迎える場所をめぐって～』

日 時：11月28日(土) 14:00～16:30

会 場：メグレズホール

参加費：無料

*事前申込不要。どなたでもご来場いただけます。

共 催：星総合病院、テルモ株式会社、
協和発酵キリン株式会社

問合せ先：星総合病院 地域連携室 電話 024-983-5511

一 内 容 一

(1)講演「緩和ケア病棟で迎える死」

14:05～14:30

星総合病院 緩和ケア認定看護師 佐藤育恵

(2)シンポジウム 14:30～16:00

総合討論 16:05～16:30



公益財団法人 星総合病院

●星総合病院

〒963-8501 福島県郡山市向河原町159番1号
TEL 024-983-5511

●星総合病院 在宅介護支援センター

TEL 024-983-5515

●ほしのこ保育園

TEL 024-983-5519

●星ヶ丘病院

〒963-0211 福島県郡山市片平町字北三天7番地
TEL 024-952-6411

●星ヶ丘訪問看護ステーション

TEL 024-962-1711

●居宅介護支援事業所星ヶ丘

TEL 024-952-6414

●星ヶ丘保育園

〒963-0211 福島県郡山市片平町字北三天7番地3号
TEL 024-951-0788

●介護老人保健施設 オリオン

〒963-0211 福島県郡山市片平町字峯三天2番地
TEL 024-952-6413

●三春町立三春病院(指定管理)

〒963-7752 福島県田村郡三春町字六升崎50
TEL 0247-62-3131

●三春訪問看護ステーション

TEL 0247-73-8270

●ほし横塚クリニック

〒963-8803 福島県郡山市横塚二丁目20-36
TEL 024-956-7778

●星訪問看護ステーション

TEL 024-956-2322

●芳賀・小原田地域包括支援センター

TEL 024-941-1121

●星訪問看護ステーション しずか

〒963-0209 福島県郡山市御前町5丁目18番地 ウエストパーク8棟102号
TEL 024-983-6410

●養護老人ホーム 三春町敬老園(指定管理)

〒963-7752 福島県田村郡三春町字六升崎50番地の1
TEL 0247-62-3618

●ボラリス保健看護学院

〒963-8801 福島県郡山市向河原町159番7号
TEL 024-983-5010

●三春町第1保育所(指定管理)

〒963-7769 福島県田村郡三春町担橋1-4-1
TEL 0247-62-3839

ご意見をお聞かせ下さい。

ホームページアドレス

<http://www.hoshipital.jp>

発行／公益財団法人星総合病院

編集／法人広報部

発行日／平成27年10月

住 所／〒963-8501

郡山市向河原町159番1号

九月九日、病氣療養中であった小瀧千弘財務会計部長が逝去されました。二十歳で入職してから、五十二年にも渡り当法人の発展を支えてこられました。近年では、東日本大震災からの復興、星総合病院の移転新築を経て、新しい事業にも次々と着手し、当法人がさらなる歩みを進めていく中での突然の訃報となりました。

星総合病院を愛し、いつも真摯に仕事に取り組む姿勢は、職員の手本となる存在でした。人望が厚く、誰からも慕われる温かいお人柄で、優しく時には厳しく、職員を導いてくださいました。半世紀以上に渡り当法人に尽くしてこられた功労は計り知れません。

小瀧部長のご冥福をお祈り申し上げると共に、謹んで哀悼の意を表します。

編集後記